

大会統一テーマ **転換期における地域の再生に向けて**
～変革の風は地方から～

— < 午前の部 (10:00~12:00) > —

分科会 1 議会の政策形成能力

広がりと定着を見せつつある議会改革と議会基本条例の制定を踏まえ、議会の政策形成能力の向上について考える。議員による政策検討、条例化までの過程を先進事例を通して共有し、議会の政策法務にとって何が必要かを検討する。

- パネリスト
萩野 虔一(前三重県議会議長、三重県議会 議会改革推進会議会長)
佐藤 邦夫(奥州市議会議員)
玉川 喜一郎(越前市議会議員、議会活性化検討委員会委員長)
- コーディネーター
江藤 俊昭(山梨学院大学)

分科会 2 自治体の財政規律

今後急速に進行する人口減少、少子高齢化に加え、昨今の金融危機は自治体を直撃することは間違いない。こうした時代に自らをコントロールする仕組み＝自治体の財政規律を自治体経営の中にかに組み込んでいくかという視点で考察していきたい。

- パネリスト
福田 康仁(多治見市政策開発室)
要明 勲(加賀市議会議員)
有川 利彦(城陽市まちづくり推進部)
- コーディネーター
神原 勝(北海学園大学)

分科会 3 地域資源を活かす～食・文化・くらし

地元では意識されんけど、福井の豊かさは全国有数やぞ。うららの環境を資源にして磨いて、発信すんにはどうせばいいんにやろ？よそからの目を現場に入れつって、福井で地域の元気を語り、学び、活かしてみよっさ。

- パネリスト
片木 孝治(京都精華大学)
中田 典子(小浜市食のまちづくり課)
溝口 淳(福井県池田町総務政策課)
- コーディネーター
進士 五十八(東京農業大学)

分科会 4 自治の担い手を育てる～新しい職員像～

政策や公的サービスの担い手が多元化する中、自治の担い手のひとりである自治体職員に求められるものは何か。職業人(プロフェッショナル)としてどうあるべきか。多面的視点から、時代が求める職員像を追求する。

- パネリスト
土山 希美枝(龍谷大学)
遠藤 哲哉(青森公立大学)
- コメンテーター
石川 久(淑徳大学/元.富士見市職員)
- コーディネーター
今井 照(福島大学)

— < 午後の部 (13:00~15:00) > —

分科会 5 地域で築くセーフティネット

雇用、福祉、医療、住宅、交通などさまざまな面で、地域社会にセーフティネットをいかに確保していけるかが問われている。厳しい資源の制約のもとで、地域住民と自治体、専門職と生活者の役割分担と可能性を検討する。

- パネリスト
大山典宏(社会福祉士、生活保護 110 番)
茂 幸雄(NPO 法人「心に響く文集・編集局」)
澤井 勝(奈良女子大学名誉教授)
- コーディネーター
大石田 久宗(三鷹市都市整備部)

分科会 6 公共交通で街を鍛える

(この分科会のみ12時半開始予定)

人口減少・高齢社会において、持続可能なコンパクトシティ(集約型都市)を考える上で、電車とバスの公共交通機関は欠くことができない。それをどのように残し、活用していくか、自治体の役割は何かを考える。

(12時30分えちぜん鉄道福井駅集合 電車で街へ出ます。)

- パネリスト
川上 洋司(福井大学)
見奈美 徹(えちぜん鉄道代表取締役社長)
村田 治夫(福井鉄道代表取締役社長)
藤岡 啓太郎(福井市都市戦略部)
- コーディネーター
浅沼 美忠(福井県立大学)

分科会 7 地元企画：業務改革改善運動発表会が「お役所」を変える

従来のような上からの改革ではなく、自治体職員が自ら主体的に変わっていく取り組みとして注目される「業務改革改善運動発表会」の発表実例を鑑賞し、各自治体の取り組みを紹介しながら、お役所の何をどのように変えるかを議論する。

- パネリスト
吉村 慎一(福岡市議会事務局)
立石 孝裕(尼崎市行政経営推進室)
西浦 志乃(名古屋市長官舎総務局人材開発室)
牧田 美佐穂(福井市企業局経営企画課)
- コーディネーター
石原 俊彦(関西学院大学)

分科会 8 公募企画：自治体はローカル・マニフェストをどう使いこなすか

2003年の統一地方選挙以来、地方政治にも政策選択をマニフェストによって行う選挙スタイルが登場した。これは、「お任せ型」から「契約型」へと、民主主義の質を転換するとともに、停滞する「行政評価」へのブレークスルーとなることが期待された。はたして実態はどうか現場から検証する。

- パネリスト
神吉 信之(ローカル・マニフェスト九州)
前山 恵士郎(佐賀県経営改革推進グループ)
西出 順郎(岩手県立大学)
岩淵 公二(政策アナリスト)
- コーディネーター
吉川 富夫(県立広島大学)

分科会 9 公募・地元企画：「ふるさと」政策を考える

今日、「ふるさと」という概念は、これからの日本社会や行政の在り方に関わる重要なキーワードとなっている。「ふるさと納税」の現状と課題はどうか。「ふるさと帰住」「ふるさと大使」「郷土学」といった施策は今後どのように発展するか。自治体や国が進める「ふるさと」政策の発展可能性や今後の方向性を探りたい。

- パネリスト
坂本 信雄(京都学園大学)
高松 康二(福井県ふるさと営業課)
ほか、先進自治体職員等
- コーディネーター
浅田 和幸(日本経済新聞社)

— < シンポジウム (15:15~16:45) > —

シンポジウム グローバルな危機にローカルから挑む

世界的な経済危機に見舞われて、生活の不安が増す状況に、地域や自治体はどう立ち向かえばいいのか。グローバルな危機にも耐えられる比較的安定した地域づくりは可能なのか。自治体は住民の安心を確保するために何ができるのか。現行制度の下では制約があるとしたら国にどのような改革を迫っていけばいいのか。ローカルから挑むすべを探りたい。

- パネリスト
上治 堂司(高知県馬路村長)
木村 陽子(地方財政審議会委員)
山本 泰三(山久漆工株式会社専務取締役)
- コメンテーター
進士 五十八(東京農業大学)
- コーディネーター
岡崎 昌之(法政大学)

ポスターセッション

8月20日(木)・21日(金)

地域ブロック単位、個人・団体の報告書などの配布・展示、自治体の取り組みの紹介、出版物の展示・配布等を通して、参加者が交流・意見交換できる場としてポスターセッションを開催します。

エクスカージョン

8月21日(金)・22日(土)

- ① 地域資源循環型農業のまちづくり池田(池田町コース)
- ② 伝統の技と若者芸術の鯖江・まちなか再生の越前(鯖江市・越前市コース)
- ③ エコミュージアムの勝山と城下町景観再生の大野(勝山市・大野市コース)
- ④ 農業体験事業と景観整備の若狭・食育と食のまちづくり小浜(若狭町・小浜市コース)
- ⑤ 湊町景観再生の三国と金津創作の森(坂井市・あわら市コース)

※ いずれのコースも地元の自治体職員、NPO、住民の方々と懇談会をセットし、地元ならではのホットな話を聞くことが出来ます。